

向陽台地区

令和4年9月3日 (城山文化センター)

No.	質問内容	回答
1	<p>野鳥が減っている。昨年は上谷戸親水公園にチョウゲンボウが何組か営巣していたが、今年は1組だけだと聞いた。上谷戸親水公園の緑地を整備して欲しい。 また、上谷戸の景色をなるべく残して欲しい。</p>	<p>国では生物多様性の法律ができ、各地方公共団体は地域戦略を作るという努力義務がある。稲城市では生物多様性を持続するため、東京都で2番目に地域戦略を作り、これに基づいて動植物の実態調査等を行っている。 動植物を残すために、今後も里山風景を守っていきたいが、稲城市の場合、公有緑地内は民有地である。田んぼや畑の所有者が営農を続けていくことは非常に難しいため、緑地をできるだけ残せるように、自然環境保全地域に指定し、固定資産税を減免する等して緑地を残していきたい。 特に上谷戸については、ホタルの里でもあるため、地域の方たちと協力しながら、田んぼの原風景・清流・周辺の緑地を残していきたい。 最終的には、市が緑地を買い取るということも考えなければならないが、財源には限度がある。稲城市は緑地保全基金（緑を買い取る基金）を10億円持っている。これを有効活用しながら緑を守っていききたい。</p>
2	<p>城山公園の枯れ木が何年もそのままになっている。ナラ枯れか。なぜ伐採しないのか。</p>	<p>ナラ枯れについては、これまで200本ほど伐採している。伐採に係る費用や伐採後の木を処理できるかを検討して伐採をしているため、山の中の木までは手をつけられない場合もある。</p>
3	<p>渋滞解消のため、向陽台のスーパー三和前の交差点と若葉台一丁目の交差点に右折信号を設置して欲しい。</p>	<p>信号機については、多摩中央警察署に毎年要望を出している。向陽台のスーパー三和前の信号機については、私が市長に就任してから最重要課題として要望し続けており、実際に警察署が現場を確認しているが、実現に至っていない。今後も引き続き要望していく。 若葉台一丁目の交差点についても要望していく。</p>
4	<p>稲城第四中学校を建設した時に、第四中学校は将来、老人ホームになると聞いているが本当か。向陽台も高齢化が進んでいるため、お金のかからない老人ホームを作って欲しい。</p>	<p>稲城第四中学校が老人ホームになるという話は聞いたことがない。中学校に通う子どもがいる以上、廃校して老人ホームにすることは現実的にあり得ない。 高齢になって自宅で一人で暮らすのが難しくなり、介護付き老人ホームに入りたいという気持ちは分かんないが、国や市の介護保険制度の方針は、亡くなるまで生涯自宅で暮らすことである。そのために、要介護状態になっても自宅で暮らせるように在宅サービスを充実させることに注力している。 安い金額で入れる特別養護老人ホームをたくさん建てて欲しいという意見もあるが、介護保険制度というのは、需要と供給（保険料）とのバランスをとって、今後超高齢化社会になっても国家が破綻しないようにしている。そのため、保険料は、市ごとに介護保険事業計画を3年おきに立て、これに基づいて定めている。 特別養護老人ホームを建てるのに必要な費用を負担するのは入居者ではなく若い世代である。特別養護老人ホームを希望通りに無節操に建てるのは、若い世代への負担転嫁になってしまうので現実的ではない。稲城では、特別養護老人ホームにおいては、需要と供給のバランスがとれているため、現時点ではこれ以上増やすことは考えていない。 最近は民間の老人ホームも比較的安い入居一時金で入れる施設や、サービス付き高齢者住宅など様々な施設があるのでご活用いただきたい。</p>

No.	質問内容	回答
5	一人暮らしの男性は、家に引きこもっている人が多い。男性がもっと外に出るような施策を考えて欲しい。	多くの男性は自分が引きこもりであるという自覚はない。行政としてどう支援できるか、非常に難しい問題であるが、自治会活動を支援してイベント企画してもらい、ふれあいセンターで新しい人脈を作ってもらい等、できることは支援していきたい。 市民活動サポートセンターいなぎでは、定年退職をした人たちが地域活動をしやすいように支援しているのでご活用いただきたい。
6	向陽台の高齢化が進んでいる。向陽台は階段や坂が多く、高齢者が買い物をしづらくなっている。高齢化に関する施策を考えて欲しい。また、向陽台にはパブリックアートがあるが、汚れていたり、劣化が進んでいる。撤去するのではなく、守っていくことに行政も協力して欲しい。	市内において向陽台は高齢化率1位になった。向陽台は昭和63年に一斉に入居した人たちが一斉に高齢化を迎え、近いうちに高齢化のピークを迎える。そこで問題となるのが、次の世代が戻ってきて向陽台に住むのかということである。向陽台は規制が厳しく、土地を分割してはいけない、二世帯にしてはいけない等、地区計画で様々な規制がある。 高齢化の問題を解決するには、若い世代に住んでももらうことが大事。そのためには規制を緩和して世代循環できる政策を検討していかなければならないと考えている。 向陽台はもともと丘の上に街を作っているのだから、坂を無くすことは不可能だが、引き続き段差を解消する等の検討は進めていかなければならない。一方で、他の地区の老朽化も進んでおり、市内全地区を平等に整備しなければならないということもご理解いただきたい。
7	向陽台には住民の活動拠点が無く困っている。誰でも集まれる集会場を作って欲しい。	行政は地域コミュニティ活動を推奨しているし、活動そのものへの補助・支援を行っている。拠点づくりが課題となっていることは認識している。 稲城の場合は地域ごとに自治会の成り立ちが異なっている。矢野口や坂浜のように昔から自治会が一つあって、村有財産で自治会館を作っているところもあれば、向陽台・長峰・若葉台のようにマンションや団地単位で自治会がある地域もある。ニュータウンについては、そもそも連合会が集まる場所がコンセプトになかったため活動拠点が無い。更にニュータウンは空き地がないため、新たに施設を建てることも難しい。 市としては、城山文化センターという多目的に利用できる施設があるのだから、総会等にはぜひ文化センターを活用していただきたい。文化センターは社会教育活動のためにしか使えないという声もあるが、市から自治会の活動もできるように申し入れしておく。 この他にも、城山小学校の空き教室を有効活用することも考えている。城山小学校の児童数が減っているから向陽台小学校と統廃合するのでは、という噂が一人歩きしているが、個人の意見としては、小学校は地域の拠点であり、いかに児童が少なくなっても安易に廃校すべきではないと考えている。一方で、城山小学校はいずれ小規模校になってしまう。空き教室があるならば一部転用して地域の方に使ってもらっていただいても良いのではないかと。そのためには、教育委員会・学校現場と話し合いながら、今後検討していきたい。

No.	質問内容	回答
8	<p>公園や道路などにあるモニュメントの所管はどこか。市の所有物なのか。</p> <p>向陽台小学校付近にある木でできたアーチはどこかの所管なのか。補修をお願いしたり、自治会で補修をする際の相談先を教えてください。</p>	<p>市では「My City Report」というスマートフォンアプリを導入した。道路に穴が空いていたり、街路樹の枝が折れている等を発見した際に、写真を撮影し、このアプリで送信すると、位置情報と写真が管理課に届くようになっている。不具合があつて至急対応しなければならない場合は、このアプリをご活用いただきたい。電話でも受け付けますので、市に通報いただく際は街路灯や樹木に付いている番号を伝えて欲しい。</p> <p>モニュメント等はまちびらきの際にURが作り、市に移管しているので、市の所有物であることは間違いないが、所管の部署を調べるには構造物を一つずつ調べてみないと分からない。まちびらき当初に作られたモニュメント等が老朽化していることは認識しているが、それをリニューアルするだけの財源は無いため、市民協働で地域の方と協力して修復等していきたい。</p> <p>スーパー三和の反対側の回廊下の絵画についても、地域の方から修復したいというお声をいただいている。過去に1度、美術大学の学生と一緒に修復をしているようなので、今後も同じように市民協働で修復できないかを検討したい。</p>